

令和6年10月から太陽光発電施設等の設置に関する規制が強化されます

太陽光条例について、許可制の導入などの改正を行い令和6年10月1日に施行します。

1 背景

- ✓ 条例制定後6年を経過し取り巻く環境に変化
 - ▲ パネルの崩落事故への不安
 - ▲ 生物多様性への関心の高まり
 - ▲ パネルの廃棄問題の顕在化
- ✓ 国のFIT制度の改正等で規制強化

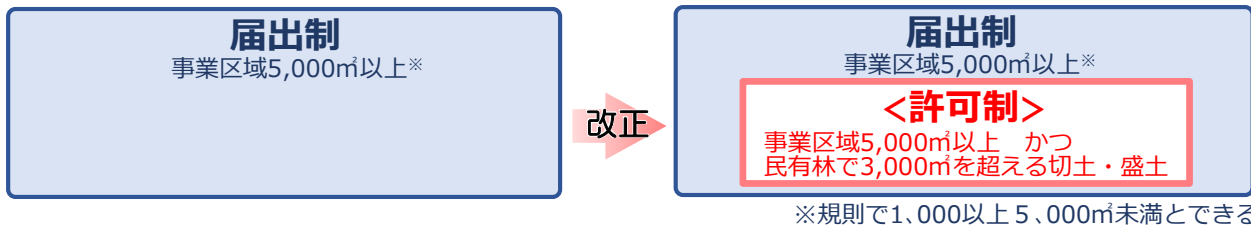


➡ 防災面や自然環境との調和等に関する規制強化

2 改正のポイント

(1) 許可制の導入

- 災害の危険性が高い森林における太陽光発電施設の設置には許可が必要

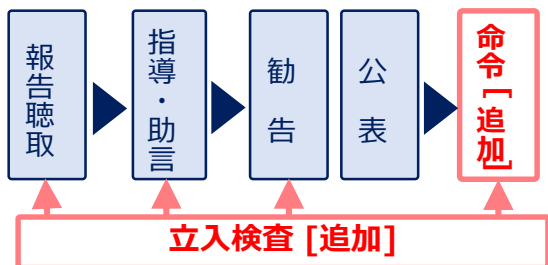


(2) 関連法令等の事前手続の義務付け

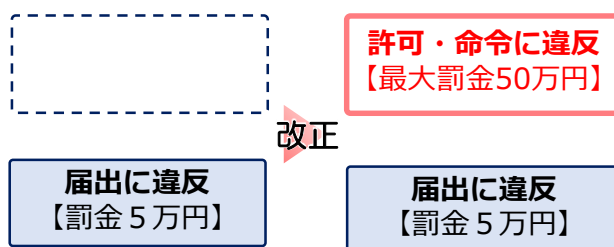
- 条例の届出や許可申請の前に、森林法や盛土規制法等の許可申請、環境影響評価法・条例等の手続を行うことを規定

(3) 条例の実効性の強化

① 指導権限等の強化



② 罰則の強化



(4) 自然環境との調和を条例の目的に明示

(5) 廃棄の適正な措置を設置者の責務に追加

兵庫県 まちづくり部 建築指導課 開発指導班

神戸市中央区下山手通5丁目10番1号 兵庫県庁1号館12階

TEL: 078-362-3646 FAX: 078-362-4456

※太陽光条例については下記HPをご覧ください。

HP: <http://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html>



兵庫県
Hyogo Prefecture